

## 『地理空間情報とプラットフォーム学』

～位置や移動に関するデータはビジネスや暮らしをいかに変革するか～  
幅広い分野での活用が進む地理空間情報が、社会課題を解決するプラットフォームとなるために必要な要素とは？



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第20回となる今回は、多分野での活用が進んでいる地理空間情報がテーマ。地形や構造物といった地図情報にスマートフォンから得られる位置情報などを組み込み、人やモノの位置や動きを扱う地理空間情報。このビッグデータが異なるデータと掛け合わさることで新たな価値創造が次々に生まれています。今回のセミナーでは、AI技術の利活用やドローン技術の進歩などで更に活用範囲が広がる地理空間情報が秘めている可能性と解決し得る社会課題について、識者らが議論します。

イベント概要

- 開催：2023年3月29日（水）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。



お申し込みはこちら  
（3月29日12時締切）

## 登壇者

岩崎秀司氏 株式会社パスコ 事業統括本部 G空間DX推進部 副部長  
内山裕弥氏 国土交通省 都市局 都市政策課 課長補佐  
原田博司教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター